

施策番号	1203		
施策名	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進		
概要	外国籍市民等に対して多言語によるコミュニケーションの支援や生活支援を行うとともに、市民が外国籍市民と交流し様々な国の文化にふれる機会を充実させ、外国籍市民等がくらしやすく活躍できる、多文化が息づくまちとする。		
担当局・部室	総合企画局・国際化推進室	共管局・部室	総合企画局・総合政策室
上位政策	12 国際化		
施策に関する主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数(留学生等除く)(人)	a	a	15,271	16,592	15,271	108.7%	a	1.00
2	市内大学等の留学生数(人)	b	c	8,317	9,320	12,274	75.9%	c	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答					
				そう思う	どちらかと言う そう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言う そう思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらす るまちになっている。	b	c	48 7.3%	210 32.1%	266 40.6%	79 12.1%	52 7.9%	655
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					平成30年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 多文化共生に対する評価は、市民の理解を得ているかが重視されるべきであると考え、市民生活実感調査総合評価を重視する。						平成29年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・外国籍市民等が身近な地域社会で活躍し、多文化が定着する取組を進めているものの、そうした取組による成果が市民の方全般には実感されていないため、市民生活実感評価の結果がc評価以下となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	多文化共生施策の総合的な推進	37,802	44,314	良い	総合企画局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・外国籍市民や留学生のさらなる増加を目指して、生活支援やコミュニケーション支援の充実を図り、誰もがぐらしやすいまちづくりを進める。
- ・多文化共生に対する市民の実感を高めるため、国際交流会館を中心に、多文化共生の取組を行う市民や団体と連携するとともに、同館で実施するオープンデイ等の催しやセミナーなどに、より多くの市民の方が参加できるよう、周知啓発などに取り組む。
- ・京都市内の大学に在籍する留学生を市内の小学校や中学校に派遣し、国際理解につなげるプログラム「PICNIC」等の取組を充実させる。
- ・平成31年4月に立ち上げた多文化共生のまちづくり推進プロジェクトチームにおいて、誰もが暮らしやすい社会の実現や、地域の活性化につなげる方策を全庁一体となって検討していく。
- ・ヘイトスピーチなどの差別を許さないまちづくりを進めるため、公の施設等の使用手続に関するガイドラインを策定するなどの取組を実施してきており、引き続き啓発等の取組を充実させる。

施策名	1203	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進
-----	------	------------------------------------

指標名	京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く）（人）
-----	----------------------------------

担当課	国際化推進室	連絡先	2 2 2 - 3 0 7 2
-----	--------	-----	-----------------

1 指標の説明

市内に在住する外国籍市民の数

2 指標の意味

魅力的な国際都市の実現に向けた外国籍市民の暮らしやすさを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ（京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く））

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	15,271	16,592	1,321人増	15,271	平成24年度以降の最高値	108.7%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a

指標名	市内大学等の留学生数（人）
-----	---------------

担当課	総合政策室	連絡先	2 2 2 - 3 0 3 2
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

京都市内に本部を置く大学・大学院・短期大学に在学する留学生数

2 指標の意味

魅力的な国際都市の実現に向けた外国人留学生の暮らしやすさと学びやすさを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：留学生スタディ京都ネットワーク

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	8,317	9,320	1,003人増	12,274	令和2年度目標値から各年度の目標を等差的に設定	75.9%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		15,000人	令和2年度	62.1%	京プラン実施計画第2ステージ

備考	日本語学校・専修学校を含めた留学生数 12,922人
----	----------------------------

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
b	c	c